

# ゴーヘッドス 速報

Goaheads

第12号 平成27年6月21日

one for all, all for one

政司がゲームを作り、チームで勝利を掴んだ!

	1	2	3	4	5	6	7	8	R
S	0	1	0	0	0	0	1		2
G	2	0	0	0	0	1	×		5



今期の対戦カードを五部に戻し、金沢産業振興センターに向向き、紫光倶楽部とVictoria2戦目を戦った。天候が気になる陽気故、序盤が非常に大事と感じたゲームであった。しかし、ゲーム開始からハプニングが起きた、今日参加予定の2選手が遅刻する失態。そんな中、急遽マウンドに上がった政司がいかにゲームを作るかが一つ目の課題、更には、それを援護する打線がどれだけ頑張れるかが今日2つ目の課題となった。その政司の立ち上がり、先頭を凡打に斬る発進、しかし、2番にはストレートの四球で出塁を許す。3番を二飛に斬り二死としたが、4番の時に二盗を決められる。そして、三盗も狙われたが、ここは今日マスクを被った祐太が許さず、初回を0点発進とした。その裏の攻撃、哲也が右前に運び出塁、2番智が、絶妙な三犠打を決める。スタート良く走り出した哲也は、一気に三塁まで進塁。そして、今日3番に入った棚川が3球目をきっちり三遊間を抜く適時打で哲也を迎え入れ先制、4番は倒れ二死となったが、5番浅沼が左中間に運び棚川を迎え入れ2点目、しかし、走塁の拙さで二塁でアウトとなり得点は2点止まりとなった。翌2回、この回の2打者に長短打を浴び1点を失点。しかし、ここからは、共に出塁するもあと1本が出ず、結果政司は、失点1でゲームを作り、4回でマウンド祐太朗に託した。その後を受けた祐太朗も6回に1本長打を浴びたが、三塁踏ませず。そして、その裏、チャンスが訪れた。この回先頭の棚川、次打者祐太が連続安打で出塁、無死一・二塁とチャンスを作ったが、後続2打者が凡打で倒れる。そして、打席には、今日ノーヒットの深沢が打席に入る。0-2と追い込まれ3球目を強振するもタイミングが合わない。そして4球目、ベンチの声援は打席に注がれた、何とかしたい場面に何とか投手強襲安打で後ろに繋げることが出来た。そして、今日2打席目の山林が打席に入る。この山林は、結果一度もバットを振ることなく四球を選択し、三塁より、棚川が生還し、嬉しい追加点。そして、まだチャンス場面は続いたが、残念ながら次打者は凡打に倒れ、最少得点の1点のみの結果となった。しかし、この1点がこの後大きな意味を持つことになる。最終回、先頭に右中間に運ばれ出塁を許す。そして次打者の時に二盗を決められ、無死二塁、しかしこの打者を見逃三に斬り一死。更には次打者も遊ゴロに斬り二死としたが、走者は三塁に進塁。続く打者を三ゴロに打ち取ったかと思っただ、野手がバウンドを合わせる事が出来ず、三塁より走者が生還し、その差は1点。打順は先頭に返る。カウント1-2から強振された打球は、レフト浅沼の頭を越す打球、誰しも同点を予感したが、この打球を浅沼が好捕しゲームセットとした。

今日を振り返ると、チームプレーでしょう。流れの随所にチームプレーを感じたが、その中でも二死からの深沢への声援だった。気持ちで負けないように、声援を送るベンチ、これに応えたい打者との気持ちが、打球に乗り、次打者の四球を呼んだ。

往々にして、ベンチで雑談・談笑が繰り広げられるが、この時ばかりは、気持ちが一つになったような気がした。気力は技術を引き出す、引き出させるを感じた一瞬であった。そう、この勢いで行こうぜ西武ドーム!!! ナイスゲームでした・・・